### 文化庁月報

No.431 2004年

#### CONTENTS

文化人の本音 河合隼雄文化庁長官対談	第29回	ゲスト井上ひさしさん●小説家、劇作家	
いろんな「習慣」で人生を楽	しみ払	えこう	4
長官コラム 文化庁の抜穴			9

	いきいきミュージアム 美術館・博物館事業レポート② 静岡県立美術館(静岡県)22	
	芸術文化の活動風景 ⑤ 西村 隆(ユニジャパン事務局次長)23	
	そうかこうすればいいんだ!著作権教育実践事例 ⑤ 著作権の意識を育てる教育活動24	
	文化交流使の活動報告 ⑤ 四方田犬彦(明治学院大学教授・映画史)・・・・・25	
	伝建地区を見守る人々 伝達歳時記 ⑤ 文化財を守り育てるために 洋館で遊ぼう「長崎居留地まつり」(長崎県長崎市) ······26	
連	遺跡を楽しむ ⑤ 地域住民による縄文クッキーつくり(茨城県美浦村)・・・・・28	
載	文化庁の地域文化振興施策 ⑤ 公立文化会館の活性化を目指して 芸術情報プラザ・・・・・・29	
	国語研究の最先端 ⑤ ニホンかニッポンか30	
	風を呼ぼう、わが町に 登録文化財との歩み ⑤ 風待ちの港町 気仙沼の歴史的建造物・・・・・・31	
	文化力ニュース from 関西 関西元気文化圏の特色ある取組 ⑤ 「文化ボランティア」の育成・・・・・・32	
	国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法―文化財鑑賞の手引き―⑪ 絵巻物の点景を楽しむ・・・・・・・・・・33 ・	
	日本の伝統美と技を守る人々 選定保存技術保持者編41 鴨治歳一(歌舞伎床山)・・・・・・・・・34	
莲	第2回国際文化フォーラム35	
量	文化財の新指定(美術工芸品関係-1)36	
	東京国立博物館 本館 (日本ギャラリー) リニューアル グランド・オープン ・・・・・・・・・・40	
イベ	京都国立博物館 特集陳列 皇后陛下ご養蚕の小石丸	
ント案内	正	
内	京都国立近代美術館 没後25年 八木一夫展	
	国立西洋美術館 マティス展 ・・・・・・・・・44	

「国語に関する世論調査」報告書

平成10年度~15年度

# 平成一五年度「国語に関する世論調査」の結果について **言葉の変化と、若い世代の意識.......**梅津正樹・西原鈴子・橋本五郎・(司会)氏原基余司・座談会 「国語に関する世論調査」について文化庁提言

### 久保田治 ::国語課 20 12 10

#### 新国立劇場スポットライト ……45 9月の国立劇場 ……46

題字デザイン 桑山弥三郎

今月の	
表紙	

芸術文化振興基金ニュース ………47

いのうえ・ひさし (本名・井上 小説家、劇作家。山形県 大学在学中から浅草の る。平成15年第14代日本ペンク ラブ会長に就任。



河合 河合 浅草フランス座でしたからね。一日三回 思うんです。ところが、なにしろ最初が 井上 入れば、 れも新しい台本を読んでくれないのです。 興行をやっていて、役者のみなさんはと 全部重なって出てきますからね。ポンと 井上 集中力を高めて、最良の状態へポ はいけない。まあ、性格ですね。 いや、浅草フランス座に責任を転嫁して っても意味がないんです。 ても忙しい。次の興行の台本が早くあが くという習慣が昔からあればよかったと ンと飛べる訓練をしなかったんですね。 朝起きたら何枚かずつきちっと書 そういうときは、 それはもう人のタイプですね。 いいのができるとは限りません いろんな条件が 忙しいからだ

# 芝居を書くということ

井上 河合 小説を書かれるときと戯曲を書か 戯曲はそのまた一○倍ぐらい削っていき れるときとでは何か違いますか。 ものをどんどん削っていくわけですけど 小説も切り詰め切り詰め、 できた



### いろんな「習慣」で 人生を楽しみ抜こう

として、公開で行われました。 ロン〜井上ひさしさんをお迎えして〜」 文化プロジェクト」のプログラムの一つ である「河合隼雄文化庁長官のト 今回の「長官対談」は、 「丸の内元気 ークサ

## 遅筆のゆえん

河合 井上 なぜ、締切に遅れるのかという話 すが、やっぱり執筆活動の話から入りま しょうか。 聞きたいことがいっぱいあるんで

河合 遅いというか、追い込むというか、 ですね (笑)。

井上 と思う。それまでが長いんです。 だめな人間でも「飛ばなきゃいけない」 う」というところからいつも始まるんで その辺が大事なんでしょうね。 て、だんだん締め切りが迫ってくると、 「もうだめだ」というところから始め 「自分はなんて才能がないんだろ

河合 そうなるまでには、 準備がいりま

詞でこの芝居は終わるんだという見きわ ど、最小限この場面のこの人物のこの台 のとおりになるかどうかわかりませんけ 台詞が決まってないとだめなんです。 ます。なおかつ、 めがつかない限り、 戯曲の場合は、 書けないのです。 7

というふうに全編の台詞が鎖のようにつ すね。この台詞が次の台詞を引き出して、 書けません。 ながっていった末に、最後の台詞が決ま る。それがきちっと見えてないと怖くて ですから、まず、 最初の台詞を書きま

ても、 河合 どんなに悪くても、ここへおさまる。 井上 最低元本保証がその線なんです。 しかし、最初と最後が決まってい 思わんことが起こるわけでしょう。

元本は保証してあると。

河合

芝居ですね。 ちろんあります。そうなったほうがい 話がとんでもないほうへいくときは、 井上ええ。途中で突然、一つの台詞で、 ₺

河合 そうですか。 と戦うわけですね。 ある意味では、 自分

井上

自分と戦ったり、

自分をからかっ

たり、自分をおどかしたり、いろいろで

河合 どういう思いで芝居を書いていら

ることはないということが、たがいにわ るんです。茶の湯でいう一期一会みたい 宇宙で一回だけの組み合わせだ」とわか 宇宙で一回こっきりです。そのためにい その劇場の客席に、その順番で座るのは、 でただ一つ、その劇場だけです。しかも、 井上 芝居は複製がききませんから、 う気持ちがずうっとありながら、 ましょうね〉とか、〈いい晩ですね〉とい う会えないかもしれませんけど、頑張り ら、ゆっくり、ゆっくり別れていく。くも かるんですね。〈今日はいい晩でした。こ なものですね。この宇宙がどこまで続い まり、その芝居を上演しているのは世界 の日はその劇場でしか上演されない。 りゆっくり出ていくんです。 んないい晩はちょっと珍しいですね〉っ い芝居を観たときのお客様は、「これは お互いに何となく目でうなずきなが もう二度とこの組み合わせで集ま ゆっく



河合 芝居は本当に同一化が起こります

るのかよ〉という感じ(笑)。そういう芝をのかよ〉という感じ(笑)。そういう芝居は、遠くでやっているように見える。時間の進みでやっているように見える。時間の進みでかっているように見える。時間の進みが遅い。ちらっと時計を見て〈まだや

河合 本当にそうですね。 というふうにするために、奇跡を起こさというふうにするために、奇跡を起こさというふうにするために、奇跡を起こさ

# 生活の中の演劇

同可寺に已まる、可となべる、なんな 出し、という言葉を、僕は、「日常生活の は、という言葉を、僕は、「日常生活の がないですね。「文 がないですね。「文 がします。

朝何時に起きる、何を食べる、みんなで食べるのか、ばらばらに食べるのか、などなど、日常その人が繰り返す習慣をなどなど、日常その人が繰り返す習慣を束ねたもの、それが文化だと思うのです。その中に、演劇が入ってこないんです。その中に、演劇が入ってこないんです。その中に、演劇が入ってこないんです。「人の人間が、今日はパチンコに行くか、芝居に居酒屋に行くかを、いつも習慣の中で選べる状態になっていくのが一番おもしろいわけではなっていくのが一番おもしろいわけですね。

河合 これは何とかせないけませんな。っています。

大子 であっている。
 大子 である。
 「今日の芝居はネクタイを井上 ええ。「今日の芝居はネクタイをネクタイしてきて十分間に合うような住まい方。逆に「今日のはしかめ面して観まい方。逆に「今日のはしかめ面して観まい方。逆に「今日のはしかめ面して観まい方。逆に「今日のはしかめ面して観まい方。逆に「今日のはしかめ面して観まい方。とおう終わってますからね。だから、芝ともう終わってますからね。だから、芝ともう終わってますからね。だから、芝ともう終わってますからね。だから、芝ともう終わってますからね。だから、芝ともう終わってますからね。だから、芝ともう終わってますからね。だからないかがあるとうない。
 は、生活全部を変えていかないかんですね。

がいいよ」と言ったりする。そういうのがいいよ」と言ったりする。そういうの芝居食べたり飲んだりしながら、「今の芝居食べたり飲んだりしながら、「今の芝居と話に花を咲かせる。ほかの劇場から出と話に花を咲かせる。ほか終わった後に、井上 そうです。芝居が終わった後に、井上 そうです。芝居が終わった後に、

**可合** それも色付込要ですね。 飲めるところが必要ですね。 が実は一番おもしろいんです。遅くまで

**井上** そういうのがあると街も生き生き **沖上** そういうのがあると街も生き生き

のをいっぱいもっているわけですから。ていくと思います。日本はおもしろいも河合 これから、本当にいろいろ変わっ

# 言葉と楽しく付き合う方法

井上 河合 です。 を言えば札をかけられたとか……。 初の先生の教育目的は…… け」と言って、自分の持っているのを一 の人が使ってるのを見つけたら、「めっ けてないといけないんです。ただ、 の首輪をかける。そしてそれを学期中か てあげたいという温かい気持ちで、教室 準語」って言ってたんです つ渡せるわけです。そうしてくると、 の中で土地の言葉を使うと、先生が手製 ええ。これが熱心ないい先生なん 井上さんの子どものころは、 生徒に早く標準語を一 覚えさせ -昔、「標 ほか 方言



井上 違うようになって、要領の悪い子は、学期の終わりに一○枚ぐらい提げて るんです。要領のいい子は、先生にもらった札を友達に渡してしまう。みんな子

河合 それと同じ制度があれば、僕は文らバイリンガルですからね(笑)。本当にありがたかったです。小規模なが本当にありがたかったです。小規模ながない。土地の言葉と共通語をしっかり

全然違うようになりますね。

(笑)。「ほれ、また関西弁」といって。 化庁でだいぶ札をもらってるはずです

える、 訓練もしてません。 あまり自分の意見を出しませんし、 言葉といえば、日本語で表現する、 日本人には、いい人が多いですね。 しゃべる、この問題もありますね。 出す

河合 そうですね。

(笑)。 をつくってあげないと。 ら、もう、りっぱなエッセイストです りでしょう。 しても、「読んで感想を言いなさい」ばか なと思いますね。大人がちゃんと仕掛け 大人にもうちょっと知恵があれば ちゃんとした感想が言えた 例えば、 読書に

河合 でも、 れはおもしろかったです。 そこをみんなの前で朗読するんです。 ころを朗読してくださいと言ったんです。 だ本の中で、一番みんなに聞かせたいと もかく朝から晩まで本を読む。寝転んで 書ツアー」というのをやりましてね。と 感想文は要らんから、 立ってでも何でもええから。その 僕は川上弘美さんという人と「読 自分が読ん あ

> きて、どういう器に入っていたか、「観 例えば、食事に出かけたら何と何が出て 井上 それはおもしろいですね。観察文 人にも答えられない。 かわいそうですし、だいたい出題する大 食べ物についての「感想」を要求しては、 察」する。それを書かせないとだめです。 は書けますが、感想文は書けないですよ。

堂々と読むんです。 いうと、 る。そうすると、小学六年生ぐらいでも 自分の感激したところを人に読んであげ でもものすごくうまいこと読むんです。 ろかったんです」と読ませると、 かないかんのだけれども、「これがおもし 河合 それに、日本の場合は、「感想」と むやみに情緒的に、感激性を書 小学生

いろんな方法がありますよね。 そこがいいというところを読み合うとか んとつくるとか、 本を八○○字にどういう話か粗筋をきち 井上 観察文から要約するとか、 おっしゃったように 一冊の

# ゆっくりと生きよう

井上 イタリアのボローニャ大学には、

> 単位も取るんだって」というふうに、 す。私たちはもうちょっとゆっくり、 学生登録をして、働きながら、 め合って、会社にしても、「彼は今年四 かかって単位を取っていこうとするんで ら二単位」というふうに、八年も九年 三単位取ろう」とか、「来年は忙しい うと思ったら、高校を卒業して、大学に いるというから、どうなっているんだろ 万の町に一一万人のボローニャ大学生が いますけど。 っくりかまえてあげられたらいいなと思 んびり勉強するということをお互いに認 一一万人学生がいるんですね。 人口三八 「今年は W 0 £ か

河合 んですけどね。 ちゃくちゃ好きで早いことやる人もい いとね。早いこと慌ててやってもね。 日本もそろそろペースダウンしな る t

井上 いですね。 そういう人は、どんどん行けば 13

河合 せかせかしてるでしょう。これを変える のへんのことがわかってない。みんなが けど、結構苦労もしているんです そういう人は得してるように思う よ。そ

### のは難しい。 今日は二単位にしておこうかとい 原稿だけはうんと早く書かなきゃ しかし、少子化になってく

河合隼雄文化庁長官対談

河合 井上 と可能性が出てくるかもしれませんね。 られるようなことは、うまいこと考える るから、そんなに大学へ入るのにせかせ う感じで。 かしなくてもよくなるので、今言ってお いかん (笑)、あとはゆっくり……。 しみじみと、 はい。 もうちょっと人生そのもの 生き生きと楽しみたい

が来たんですから、大したもんですよ。 会(「丸の内元気文化プロジェクト」) 河合 まあまあ、それを破るためにこの ら考え方を変えていかないといけません。 るのがいいというやり方、そのあたりか けですものね。会社にずうっと長い間い ショッピングセンターがあったりするわ 術館があったり、 ですね。そのために音楽会や劇場や、 こういう調子でプロジェクトも頑張って ありまして、ちゃんと今日これだけの人 飲み屋さんがあったり、

> いきたいと思います。 今日はどうもありがとうございました。

\* 高め、 談や、 オーケストラによる演奏会などを定期的に を目指すもので、 を増やすことなどにより、 内地域で働く人々の芸術文化に触れる機会 開いているほか、河合文化庁長官の公開対 さまざまなプログラムを実施しています。 「丸の内元気文化プロジェク 文化力で社会を元気にしていくこと 各芸術文化団体の一般向け公演など 映画鑑賞会や落語口演会、 地域の文化力を は、 丸の

から文化力

文化庁は新築工事のため、

丸の内のビル街

(四年間とのことだが) 移転した。霞ヶ関

作家の井上ひさしさんと、それぞれ対談をした。 語り口は、笑いの中に文化の重要さを感じさせ 通じるところが多くあるし、井上さんの軽妙な 岡田監督のチーム運用の話はビジネスマンにも して、横浜F・マリノス監督の岡田武史さん く学ぶことができた。今後もこの運動を続けて 私も一役担うことになって、 「の無料上映も行われた。 多くの聴衆とともに、 クサロンと 私も楽し

文化庁の抜穴 河合隼雄

部科学省が協力して推進することになった。 丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会と文

してくださって

丸の内で、

17

ラ連盟や落語協会

皆さんが大賛成で一挙に盛りあがり、

大手町·

を提案。どう受けとめられるかと心配したが、 とは異なる雰囲気の中で、「丸の内から文化力」

## ●9月号学

◆長官対談◆

黒沼ユリ子 バイオリニスト 【長官コラム 文化庁の抜穴】

## 文化財建造物の保存・ 【文化庁提言】 活用と観光

【文化交流使の活動報告】

重要無形文化財[螺鈿](各個認定) 保持者

北村昭斎

【伝建地区を見守る人々-美濃和紙あかりア

−ト展の試み 々─伝建歳時記─】

日々の暮らしの中で育むルールとモラル【そうかこうすればいいんだ!著作権教育実践事例】

総合芸術『バレエ』を支え

- 国際観光における文化財建造物の役割文化財建造物の保存・活用と観光

集落・町並み【有識者提言】 観光資源としての地域資源の再評価 ……三村浩中

国際音楽の日 【文化庁の地域文化振興施策】

の活用の在り方にて文化財建造物の保 [施策紹介] について、保存と観光資源として ……為国孝敏

文化財新指定(美術工芸品関係2)文化庁舞台芸術国際フェスティバ 11 ほか

【国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法】【日本の伝統美と技を守る人々】歴史資料分野編

編集後記

文化庁の

「国語に関す

世論調査」

は

に直接役立ててきました。それに加えて、葉に関する問いを立て、国語施策の推進目になりました。その間、さまざまな言目になりました。その間、さまざまな言いな七年度から毎年行い、今年度で九年 るきっかけとなったり、また、過去と同民の皆さんの国語に関する意識を喚起す調査結果を広く発表することにより、国 遣いの変化を明らかにしたりするという じ問いを立てることにより、 言葉や言葉

化していくのか、または変わらないのか、な急激な社会変化の中で、国語がどう変 見守っていく 今後もこのような世論調査等を 必要があるでしょう。

**a** 

では、 
でも人物近くの人たちが言葉造いの調査でも人物近くの人たちが言葉造いの調査でも人物近くの人たちが言葉造いの調査でも人がのできません。

文化庁では、ホームページで、文 化庁に関する情報を幅広く提供し ています。ご意見、文化庁月報の 感想などを、ホームページのご意 見欄へお寄せください。

●ホームページアドレス● http://www.bunka.go.jp

三○○人のチームプレー【芸術文化の活動風景】 北海道開拓記念館
・北海道開拓記念館
・北海道開拓記念館
・「おきいき」・「ジアム~美術館・博物館事業レポート。

### 文化庁月報 8月号 (通巻431)

平成16年8月25日印刷・発行

熊野古道ウォーク 【文化カニュースfom関西 関西元気文化圏の取組】

水切り瓦のある叮・【風を呼ぼう、わが町に 方言文法全国地図【国語研究の最先端】

奈半利の歴史的建造物に一登録文化財との歩み―』

編集---文化庁

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1

発行――株式会社 ぎょうせい

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12 本部 〒167-8088 東京都杉並区荻窪4-30-16

電話 編集 03 (3571) 2126 販売 03 (5349) 6666 URL: http://www.gyosei.co.jp

印刷所―ぎょうせいデジタル株式会社

●本誌の掲載のうち、意見にわたる部分については、筆者個人の見解であることをお断りいたします。

定価540円 本体514円 送料76円 年間購読料6,480円 本誌のご購読のお申し込みは、直接弊社の本・支社、あるいは最寄りの書店へお申し込みください。

広告の問い合わせ・申し込み先 (株) ぎょうせい営業部広告課 電話03 (5349) 6657 (ダイヤルイン) ©2004 Printed in Japan ISSN 0916-9849

本誌は本文用紙に再生紙を使用しております。